

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和元年7月31日※1

(前回公表年月日：平成30年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																																						
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日	前野 一夫	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111																																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																																						
学校法人片柳学園		昭和31年7月10日	千葉 茂	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111																																						
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																					
文化・教養	芸術専門課程	スポーツトレーナー科三年制		平成25年文部科学省告示 第2号	-																																					
学科の目的	スポーツ選手の障害予防・応急処置などを行う「アスレティックトレーナー」やさまざまな顧客のパフォーマンス向上や肉体改造をサポートする「パーソナルトレーナー」、そして医療分野の知識・技術を学んで運動指導に生かす「メディカルトレーナー」などをを目指します。																																									
認定年月日	平成26年3月31日																																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は単位数	講義	演習	実習	実験																																				
3年	昼間	2400時間	1815時間	4815時間		単位時間																																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																				
120人		169人	1人	3人	80人	83人																																				
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	<p>■成績表：有</p> <p>■成績評価の基準・方法</p> <p>授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定</p>																																					
長期休み	■学年始：4月1日～ ■夏季：7月21日～8月31日 ■冬季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月18日～3月31日			卒業・進級条件	<p>進級要件</p> <p>①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件</p> <p>①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること</p>																																					
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡する、学習サポートをする等の指導をしている。場合により第三者面談（学生・保護者・担任）を実施、また状況によって科長面も実施。			課外活動	<p>■課外活動の種類</p> <p>卒業作品展示会、ボランティア活動、スポーツトレーナー実習（部活サポート等）、体育祭、学園祭</p> <p>■サークル活動：有</p>																																					
就職等の状況※2	<p>■主な就職先、業界等（平成30年度卒業生） 株式会社東京ドームスポーツ ミズノスポーツサービス株式会社 住友不動産エスフォルタ株式会社 野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社 NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブ</p> <p>■就職指導内容 仕事の学び（スポーツ業界とは？・関連する職種とは？） 履歴書作成・SPI対策・面談試験対策・実技試験対策</p> <table border="1"> <tr> <td>■卒業者数</td><td>44</td><td>人</td></tr> <tr> <td>■就職希望者数</td><td>41</td><td>人</td></tr> <tr> <td>■就職者数</td><td>40</td><td>人</td></tr> <tr> <td>■就職率</td><td>97.6</td><td>%</td></tr> </table> <p>■卒業者に占める就職者の割合 ： 90.9 %</p> <p>■その他 ・進学者数： 0人</p> <p>（平成 30 年度卒業者に関する 令和1年5月1日 時点の情報）</p>			■卒業者数	44	人	■就職希望者数	41	人	■就職者数	40	人	■就職率	97.6	%	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<p>■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本体育協会公認</td><td>(3)</td><td>8人</td><td>0人</td></tr> <tr> <td>NSCA認定パーソナルトレーナー</td><td>(3)</td><td>12人</td><td>7人</td></tr> <tr> <td>JATI認定トレーニング指導者</td><td>(3)</td><td>25人</td><td>25人</td></tr> <tr> <td>健康運動実践指導者</td><td>(3)</td><td>17人</td><td>17人</td></tr> <tr> <td>日本赤十字社救急法救急員</td><td>(3)</td><td>42人</td><td>42人</td></tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等）</p>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	日本体育協会公認	(3)	8人	0人	NSCA認定パーソナルトレーナー	(3)	12人	7人	JATI認定トレーニング指導者	(3)	25人	25人	健康運動実践指導者	(3)	17人	17人	日本赤十字社救急法救急員	(3)	42人	42人
■卒業者数	44	人																																								
■就職希望者数	41	人																																								
■就職者数	40	人																																								
■就職率	97.6	%																																								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																							
日本体育協会公認	(3)	8人	0人																																							
NSCA認定パーソナルトレーナー	(3)	12人	7人																																							
JATI認定トレーニング指導者	(3)	25人	25人																																							
健康運動実践指導者	(3)	17人	17人																																							
日本赤十字社救急法救急員	(3)	42人	42人																																							

中途退学 の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0.0 % (休学者1名含まず) 平成30年4月1日時点において、在学者148名（平成30年4月1日入学者を含む） 平成31年3月31日時点において、在学者147名（平成31年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 家庭の都合・学習意欲の喪失
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。
	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： ・片柳学園入学金免除制度・片柳学園給付型奨学金制度・再入学優遇制度・片柳学園奨学金制度・留学生特別給付制度 ・ミュージシャン特待生・スポーツ特待生・IT資格特待生 ■専門実践教育訓練給付： 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
	■民間の評価機関等から第三者評価： 有・無 特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日) 受審 https://www.neec.ac.jp/education/accreditation/
経済的支援 制度	https://www.neec.ac.jp/department/
第三者による 学校評価	
当該学科の ホームページ [URL] (留意事項)	

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをおいています。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料・賃金・報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
- （3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

スポーツトレーナー分野に関して、企業等へのヒアリングを実施。PDCAサイクルに従い、実務に関する知識・技術・必項な資格等を調査しカリキュラムに反映させる。授業科目のシラバスをもとに科目担当教員と企業講師（職実申請コース関係の資格取得者）との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッ칭協会	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	①
齊藤 克己	有限会社レクスピ	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	③
相澤 景太	株式会社カイラックス	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	③
前野 一夫	日本工学院八王子専門学校 校長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日（1年）	
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日（1年）	
三樹 春幸	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日（1年）	
杉浦 晋	日本工学院八王子専門学校 科長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日（1年）	
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日（1年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（3月・9月）

(開催日時（実績）)

第1回 平成30年7月23日 15：15～17：15

第2回 平成31年2月26日 13：30～15：30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育全般に意見を反映できるよう、短期的・中長期的に分けて実施をする。

三年制の資格受験数・取得者数は多少改善傾向であるが、SNSや求人情報から資格の必要性が薄れているのではないかとの意見から、現場実習を増やし、業界で活躍する方々を招いての特別講演等を実施するなど職業観育成と同時に「キャリアデザイン」の指導強化、「AT演習」「CPT演習」「健康運動演習」を中心に資格の必要性を指導していく。特にパーソナルトレーナー＝ボディメイクと考えている学生もいるため、自らトレーニングを実践し、職業の骨幹となる運動の素晴らしさを経験を沢山させる。業界として離職率が高いといった意見もあり、職業観育成や専門性と人間力向上を目的とし「現場実習」を学内施設を利用・企業と連携しながら頻度や時間を増やし強化していく。また就職に結びつくようインターンシップの利用を指導。中長期として、ICT・IOTを利用した評価やデータを蓄積し利用する事が可能なのではないかとの意見もあり、情報を精査していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

スポーツトレーナーの実務で必要な各種コンディショニングの手法を、実際の企業が実施する仕事内容を踏まえて指導・理解を目的とする。公認アスレティックトレーナー資格等を有する専門家による知識・技術の指導に加え、実際の指導現場を想定した社会人基礎力の助言、協力の得られる企業を選定する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業（株式会社ルートヴィガー）との打ち合わせにより、職業人としてのスポーツトレーナーに必要な技能・実習内容や評価方法を設定し目標を明確にする。スポーツトレーナーの実務で必要な各種コンディショニングの手法を、実際の企業が実施する仕事内容を踏まえて指導・理解を目的とし「予防とコンディショニング2（30時間）」にて実施。スポーツトレーナーの必須スキルである各種コンディショニング実技に関して、施設を活用しながら実際にクライアントに実施しているノウハウを踏まえて学び、スポーツトレーナーとして必要なヒューマンスキルを含めて学習を進める。公認アスレティックトレーナーの資格を有する者による専門知識・技術の指導に加え、フィットネスチェック・フィールドテストを適宜実施し、レベル確認を行う。企業等の講師派遣による実施テスト評価に基づき教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
予防とコンディショニング2	コンディションの把握・管理・方法と実際にについて学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや環境整備についても学びます。	株式会社ルートヴィガー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

1) 研修名「フィットネス×IOT」

(連携企業等：テクノジムジャパン株式会社 HCP事業部 部長 藤本浩也)

期間：平成30年8月10日 15:30-17:30

フィットネス業界のトレンド・求められる人材

2) 研修名「ICTを活用したウエルネスプログラム」

(連携企業等：コードブック株式会社 細野貴文)

期間：平成31年3月26日 10:00-12:00

ICTを活用した健康管理の事例・データから見る施策と効果・ICTの使い勝手と評価

②指導力の修得・向上のための研修等

1) 研修名「教育現場に必要なコーチングコミュニケーション」

(連携企業等：株式会社WACアカデミー 野本知里)

期間：平成30年6月24日 15:30-17:30

伝え方の作り方・やる気に火をつける・アンガーマネジメント

2) 研修名「教育現場に必要なコーチングコミュニケーション」

(連携企業等：株式会社WACアカデミー 野本知里)

期間：平成31年3月10日 15:00-17:00

言葉と表現力・相手の反応を見る・行動量

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

1) 研修名「スポーツとIOT・ICT」

(連携企業等：コードブック株式会社 細野貴文)

期間：令和1年8月3日16:00－17:30

最新のスポーツに関わるIOTとICTについて

2) 研修名「スポーツとIOT・ICT」（案）

(連携企業等：テクノジムジャパン株式会社)

期間：12月～3月を予定

テクノジムの事例から、IOT・ICTを活用した健康管理やモチベーションの維持・向上を図る手法と事例

②指導力の修得・向上のための研修等

1) 研修名「コーチングについて」

(連携企業等：株式会社WACアカデミー 野本知里)

期間：令和1年8月18日16:00－17:30

コーチングを用いての学生の対応力

2) 研修名「コーチングについて」（案）

(連携企業等：株式会社WACアカデミー)

期間：12月～3月を予定

今期第1回目を踏まえたコーチングの考え方と伝え方

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。

また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことと基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3) 教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4) 学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7) 学生の受け入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8) 財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32)関連法令・設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

保護者との連携を強化するために保護者会を継続して実施した方が良いとの意見から、学内保護者会および学外会場を増やし、学生へのサポート体制の充実を図る。学生のコミュニケーション能力向上のため、八王子協定ボランティアへの積極的参加を促したり、学科・カレッジを越えた地域連携・企業連携課題などで協働作業を進めコミュニケーション能力向上を図っていく。

社会人の学び直し講座については、実施時期や内容を精査しながら実証研究事業などを参考に再検討していく。

今年度も引き続き教員の就労環境の改善をはかりながら、自発的な能力開発及び向上を目的とした「学校法人片柳学園職員自己啓発支援制度」を活用し、教員の研修体制を整えていく。また、女性管理職育成の取組として、女性活躍推進研修を実施した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会长 (セントラルエンジニアリング 株式会社 グループマネージャー)	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	卒業生／IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	地域関連
三井 隆裕	株式会社NVC(ヌーベルバーグカンパニー) 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	クリエイターズ 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	ミュージック 企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	デザイン 企業等委員
鈴木 浩之	株式会社田中建設 取締役 建築部長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	テクノロジー 企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	スポーツ 企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	医療 企業等委員
宮崎 豊彦	八王子市私立保育園協会 会長 城山保育園 園長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日（1年）	医療・保育 団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(

)

)

平成30年9月11日

URL : <https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、平成29年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程 スポーツトレーナー科三年制) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任			
○			PC活用	コンピュータのしくみから基本操作までを実習を通じて学びます。			1・前	30	1		○	○		○		
○			ビジネススキル1	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。			1・前	30	2	○		○		○		
○			ビジネススキル2				1・後	30	2	○		○		○		
	○		MOS	マイクロソフト認定Word、Excel資格取得に向けて、必要な基礎知識を学びます。			1・後	30	1		○	○		○		
○			ストレングス＆コンディショニング実技1	準備運動、ストレッチング、補強運動、フィットネストレーニング、筋力トレーニング（マシントレーニング）、整理体操などの基本テクニックについて学びます。			1・前	30	1		○	○		○	○	
○			ストレングス＆コンディショニング実技2	マシンやフリーウエイトを使用した筋力トレーニング、サーキットトレーニング、アジリティトレーニングなどの基本テクニックについて学びます。			1・後	30	1		○	○		○	○	
○			ストレングス＆コンディショニング理論1	ストレングス＆コンディショニングプログラムを作成するための基礎知識を学びます（フィットネスエクササイズと安全も含む）。			1・前	30	2	○		○		○		
○			ストレングス＆コンディショニング理論2	目的に応じたストレングス＆コンディショニングプログラムの作成能力やカウンセリング能力を養います。			1・後	30	2	○		○		○		
○			スポーツトレーナーの役割	アスレティックトレーナーとは何かを学び、コーチやスポーツドクターとの連携、組織の運営と管理などアスレティックトレーナー業務全般について学びます。			1・前	30	2	○		○		○	○	
○			メディカルトレーナー演習1	メディカルトレーナーに必要な基礎知識として、解剖学、運動生理学などを学びます。			1・前	30	1		○	○		○		
○			メディカルトレーナー演習2	メディカルトレーナーに必要な、整体の基礎的なスキルを身につけます。			1・後	30	1		○	○			○	
○			救急処置法	スポーツ現場で発生した傷害や疾病などの処置方法について学びます。			1・前	30	2	○		○		○		
○			予防とコンディショニング1	テーピングの手法について学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや、環境整備についても学びます。			1・前	30	1		○	○		○		
○			予防とコンディショニング2	コンディションの把握・管理・方法と実際にについて学びます。また、競技特性に応じたコンディショニングや環境整備についても学びます。			1・前	30	1		○	○		○	○	
	○		予防とコンディショニング理論				1・前	30	2	○		○		○	○	

○		陸上	陸上、ジョギング・ウォーキングの特性について理解し、年齢別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
	○	アウトドア実習A	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
	○	キャンプインス	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えられる	1・前	30	1			○	○			○	
	○	トラクター実習A	ようにキャンプの基礎を学習します。	1・前	30	1			○	○			○	
	○	マリン実習A	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	1・前	30	1			○	○	○	○	○	
○		現場実習1	トレーナーがどのような役割を果たしているのか、基礎的な学びとおもに見学実習を行います。	1・前	15	0			○	○	○	○		
	○	現場実習2	トレーナーがどのような役割を果たしているのか、基礎的な学びと実習体験を行います。	1・後	30	1			○	○	○	○	○	
	○	初級ダイビング実習	スクーバダイビング「オープンウォーター」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
	○	短期海外研修A	アメリカの州立大学などにおいて人体解剖、ティピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深め	1・通	30	1			○	○	○	○	○	
	○	フィンワーク実習	プールにて3点セット（マスク、フィン、スノーケル）を使用し、フィンワーク（泳ぎ方、素潜り）技術を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
	○	運動器の解剖と機能1	上下肢および体幹部の基礎解剖学と運動学について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
	○	運動器の解剖と機能2		1・後	30	2	○			○			○	
	○	スイミングA	水泳の特性について理解し、レベル別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○	○	○	○	
○		コーチ学	スポーツ指導者とは、指導者の心構え・視点、競技者育成プログラムの理念、指導計画の立て方、スポーツ活動と安全管理、スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任などについて学びま	1・後	30	2	○			○			○	
○		スポーツ医学概論	スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、アスリートの健康管理と内科的障害と対策、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、アンチドーピング、スポーツによる精神障害などについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○		運動生理学	スポーツ活動と体力、運動体としての身体の構造と機能について学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○		栄養学	スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活について学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
	○	スキー実習A	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッヂ検定を実施します。	1・後	30	1			○	○	○	○	○	
	○	スノーボード実習A	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッヂ検定を実施します。	1・後	30	1			○	○			○	
	○	スポーツ外傷・障害の基礎知識1	スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。	1・通	30	2	○			○			○	

		○	中級ダイビング実習	スクーバダイビング「アドバンスダイバー」資格取得のために必要な知識・技術について、講義と海海洋実習を通じて学びます。	1・後	30	1			○	○	○	○	
		○	AT演習1	現場実習での経験・知識を生かして、ゼミ形式で授業を行います。	1・通	60	2			○	○		○	
		○	CPT演習1	パーソナルトレーナー（CPT）・JATI認定トレーニング指導者受験に向けて、実技を含め学習します。	1・通	30	1			○	○	○	○	
		○	アスレティック・リハビリテーション1	アスレティックリハビリテーションの考え方と運動療法の基礎について学びます。	1・後	30	2	○		○	○	○	○	
		○	アスレティック・リハビリテーション2	物理療法と補装具使用に関する基礎知識を学び、身体の各部位の外傷ごとのリスク管理に基づいたアスレティックリハビリテーションのプログラムと実践を学びます。	1・後	30	2	○		○	○	○	○	
		○	健康運動演習1	生活習慣病予防のための運動実践について学びます。	1・後	30	1			○	○	○		
		○	トレーニング科学1	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとIT、体力とは、トレーニングの進め方、トレーニングの種類について学びます。	1・後	15	1	○		○	○	○	○	
		○	トレーニング科学2	アスレティックトレーナーに必要なスポーツ科学、競技者のためのトレーニングについて学びます。	1・後	30	2	○		○	○		○	
		○	MFCスタッフ実習1	MFC（メディカルフィットネスセンター）スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	1・通	120	4			○	○	○	○	
		○	キャリアアップセミナーA	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	15	1	○		○			○	
		○	キャリアアップセミナーB		1・通	30	2	○		○			○	
		○	キャリアアップセミナーC		1・通	45	3	○		○	○	○	○	
		○	キャリアアップセミナーD		1・通	60	4	○		○	○	○	○	
		○	キャリア実習1	スポーツトレーナーとして活躍するために、企業などで実習を行います。	1・通	15	0			○	○	○	○	
		○	スポーツトレーニング実習A	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	60	2			○	○	○	○	
		○	スポーツトレーニング実習B	メディカルフィットネスセンターなどを週2回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	120	4			○	○	○	○	
		○	スポーツ自由研究A	スポーツに関するこをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・通	30	1			○	○	○	○	
		○	スポーツ自由研究B		1・通	30	1			○	○	○	○	
		○	現場体験実習A	今まで勉強してきたことについて、総合的に学内外で実習します。	1・通	30	1			○	○	○	○	
		○	社会体育実習A	学外などにおいて現場の実践的な経験やボランティア活動をし、指導者としての資質を高めます。	1・通	60	2			○	○	○	○	
		○	日本赤十字社救急法A	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	1・通	30	1			○	○		○	

		○	パーソナル フィットネス・ エディケーションA	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などを学びます。	1・ 通	60	2			○	○	○		
○			解剖学概論	骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経などの構造と機能について学びます。	1・ 前	30	2			○	○	○	○	
		○	高齢社会と老化	日本における高齢化社会から考えられる諸問題について考え、運動等による対応策について学びます。	1・ 前	15	1	○		○	○	○	○	
		○	メディカル フィットネス施設	メディカルフィットネス施設とは何かを学び、施設で対応できる内容及び利用方法について学びます。	1・ 前	15	1	○			○	○	○	
		○	マーケティング 1	企業などの組織が顧客が求めるサービス、情報を届けるための理論を実践的に学びます。	1・ 前	15	1	○		○			○	
		○	マーケティング 2		1・ 後	15	1	○		○			○	
		○	ヒアリング1	メディカルフィットネストレーナーとして、クライアントが抱える問題点を抽出して改善に至るまでの対応についてヒアリング出来るスキルを学びます。	1・ 前	15	1	○		○			○	
		○	ヒアリング2		1・ 後	15	1	○		○			○	
		○	リスクマネジメント1	メディカルフィットネス施設管理、またはメディカルフィットネストレーナーとして、業務上必要なリスクマネジメントについて学びます。	1・ 前	15	1	○		○			○	
		○	リスクマネジメント2		1・ 後	15	1	○		○			○	
		○	MFT実技	メディカルフィットネストレーナーとして認定を受けるための実技スキルを身につけます。	1・ 後	30	1	○		○			○	
		○	介護保険制度	現代社会における介護保険制度について学びます。	1・ 後	15	1	○		○			○	
○			HIT理論	科学的な目線から開発されたトレーニングの基礎『HIT』を学んでいきます。実際に指導現場へ出たときに応用をきかせる為の基礎作りであります。	1・ 前	30	2	○		○			○	
○			HIT理論実技	HIT理論を理解したうえで、徒手抵抗の技術や実際にHITを提供できるレベルに仕上げます。プログラミングの勉強もすることで現場ですぐに使えるノウハウを学びます。	1・ 後	15	1	○		○			○	
○			コミュニケーション	スポーツ現場で必要なコミュニケーションスキルを学びます。（営業力、選手のケア、お客様への対応、さまざまシーンを想定しながらコミュニケーションスキルを磨いていきます。）	1・ 後	15	1	○		○			○	
○			ビジネススキル3	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・ 前	30	2	○		○			○	
○			ビジネススキル4		2・ 後	30	2	○		○			○	
○			ストレングス＆ コンディショニング実技3	筋力トレーニング、アジャリティトレーニング、ランニングトレーニングなどの応用テクニックと指導方法について学びます。	2・ 前	30	1			○	○		○	○
○			ストレングス＆ コンディショニング理論3	S&C理論1・2で学んだ知識を活用しながら、パーソナルトレーナーとしての知識と総合力を養います。	2・ 前	30	2	○		○			○	

○			スポーツ心理学	スポーツと心、スポーツにおける動機づけ、コーチングの心理、メンタルマネジメント、指導者のメンタルマネジメント、スポーツ相談の意義、スポーツ相談の実際、子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性などについて学びます	2・前	30	2	○			○			○	
	○	2	スポーツ心理学	スポーツ相談の概念・目的、カウンセリングの理論と技術、スポーツ相談事業の企画と運営などについて学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
○			バイオメカニクス	トレーニング理論とその方法、トレーニング計画とその実際、体力テストとその活用、スキルの獲得とその獲得過程、スポーツバイオメカニクスの基礎を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		3	メディカルトレーナー演習	メディカルトレーナーに必要な、整体の応用的なスキルを身につけます。	2・前	30	1			○	○			○	
○		4	メディカルトレーナー演習		2・後	30	1			○	○	○		○	
	○	B	アウトドア実習	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○	○			○	
	○	B	キャンプインストラクター実習	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	2・前	30	1			○	○			○	
	○		マリン実習B	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	2・前	30	1			○	○			○	
	○		上級ダイビング実習	スクーバダイビング「ダイブマスター」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○	○			○	
	○		短期海外研修B	アメリカの州立大学などにおいて人体解剖、ティピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深め	2・通	30	1			○	○			○	
	○		AT演習2	現場実習での経験・知識を生かして、ゼミ形式で授業を行います。	2・前	60	2			○	○			○	○
	○		AT演習3	現場実習での経験・知識を生かして、演習形式で授業を行います。	2・後	60	2			○	○			○	○
	○		CPT演習2	パーソナルトレーナー（CPT）・JATI認定トレーニング指導者受験に向けて実技を含め学習します。	2・前	30	1			○	○			○	○
	○		CPT演習3		2・後	60	2			○	○			○	○
	○		スポーツ経営学	スポーツ組織の運営、スポーツ事業の計画・運営・評価、地域スポーツクラブの機能と役割、広域スポーツセンターの機能と役割、地域におけるスポーツ振興方策と行政の関わり、我が国のスポーツ振興施策について学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
	○		健康運動演習2	生活習慣病予防のための運動実践について学びます。	2・前	30	1			○	○			○	
	○		健康運動演習3		2・後	60	2			○	○			○	

		○	検査・測定と評価	アスレティックトレーナーに必要な評価・検査・測定の手法、スポーツ動作の観察・分析について学びます。	2・前	60	4	○			○		○	
		○	社会体育概論	スポーツとは、文化としてのスポーツ、社会の中のスポーツ、障害者とスポーツについて学びます。	2・前	15	1	○			○		○	
		○	スタジオプログラム 1	スポーツクラブでは主流のスタジオプログラム。パワーヨガ、マットピラティスなどその種類は多種多様です。スタジオプログラムの主要な運動についての知識、技術について基礎を学びます。	2・後	30	1			○	○		○	
		○	スポーツと食事	アスリートの身体組成から始まり、からだ作りやトレーニングスケジュール、栄養管理・水分管理・サプリメントの留意点、特殊環境と栄養に関する疾病、アスリートへの栄養教育について全般的に学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	トレーニング科学	アスレティックトレーナーに必要なトレーニング科学を総合的に学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	健康教育学	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴、発育発達期に多いケガや病気、発育発達期のプログラムなどについて学びます。	2・前	15	1	○			○		○	
		○	体力測定法	体力測定の方法、測定結果の処理、体力評価とスポーツプログラムについて学びます。	2・前	15	1	○			○		○	
		○	スキー実習B	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッヂテストを実施します。	2・後	30	1			○	○		○	
		○	スノーボード実習B	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッヂ検定を実施します。	2・後	30	1			○	○		○	
		○	アスレティック・リハビリテーション3	競技特性に基づいたアスレティックリハビリテーションのプログラムについて学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	障害者スポーツ	障害者に対するスポーツ指導法を学びながら、(財)日本障害者スポーツ協会初級スポーツ指導員の資格取得をめざします。	2・後	30	2	○			○		○	
		○	フィットネストレーナー演習	メディカルフィットネスセンターなどをを利用して、トレーニングルームの運営方法やクライアントとの接し方、法的問題について学びます。	2・後	30	1			○	○		○	
		○	競技者システム育成論	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとITについて学びます。	2・後	15	1	○			○		○	
		○	MFCスタッフ実習2	MFC（メディカルフィットネスセンター）スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	2・通	120	4			○	○		○	
		○	インターンシップ1	スポーツ関連企業でインターンシップを経験します。	2・通	45	1			○	○		○	
		○	キャリアアップセミナーE	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	15	1	○			○		○	
		○	キャリアアップセミナーF		2・通	30	2	○			○		○	
		○	キャリアアップセミナーG		2・通	45	3	○			○		○	
		○	キャリアアップセミナーH		2・通	60	4	○			○		○	

		○	キャリア実習 2	スポーツトレーナーとして活躍するために、企業などで実習を行います。	2・通	15	0				○	○	
		○	スポーツトレーニング実習C	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	60	2				○	○	○
		○	スポーツトレーニング実習D	メディカルフィットネスセンターなどを週2回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	120	4				○	○	○
		○	スポーツ外傷・障害の基礎知識 2	スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。	2・通	30	2	○			○		○
		○	スポーツ自由研究C	スポーツに関するこことをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にしその意義・本質などを見極め理解を深めます。	2・通	30	1				○	○	○
		○	スポーツ自由研究D		2・通	30	1				○	○	○
		○	健康管理とスポーツ医学	感染症や特殊環境を含む、スポーツで起こりうる内科疾患を学び、年齢・性別によるその特徴と内科的メディカルチェック・ドーピングについて学びます。	2・通	30	2	○			○		○
		○	現場実習 3	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの規定実習を行います。	2・通	180	6				○	○	○
		○	現場体験実習B	今まで勉強してきたことについて、総合的に学内外で実習します。	2・通	30	1				○	○	○
		○	社会体育実習B	学外などにおいて現場の実践的な経験やボランティア活動をし、指導者としての資質を高めます。	2・通	60	2				○	○	○
		○	日本赤十字社救急法B	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	2・通	30	1				○	○	
		○	パーソナルフィットネス・エディケーションB	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などを学びます。	2・通	60	2				○		○
		○	エアロビック 1	エアロビックダンス技能検定初級レベルの技術の修得とエアロビックダンスの特性について学びます。	2・後	30	1				○		○
		○	メディカルコミュニケーション1	メディカルフィットネストレーナーとして、メディカルについて運動指導及びアドバイスが出来るコミュニケーション能力を養います。	2・前	15	1	○			○		○
		○	メディカルコミュニケーション2		2・後	15	1	○			○		○
		○	バイタルサイン 1	メディカルフィットネストレーナーとして、安全で適切な指導を行うためのバイタルサインについて学びます。	2・前	15	1	○			○		○
		○	バイタルサイン 2		2・後	15	1	○			○		○
		○	MFT実習前指導	メディカルフィットネストレーナーとして、現場実習を行う際に必要なスキルについて確認して、実習前に留意事項について指導します。	2・前	15	1	○			○	○	○
		○	MFT実習後指導	メディカルフィットネストレーナーとしての現場実習終了後に、実習報告及び問題点等について指導します。	2・後	15	1	○			○	○	○
		○	MFT実習短期 インターン（5日間）	メディカルフィットネストレーナーとして、5日間のインターンを実施します。	2・前	45	1				○	○	○

		○	MFT実習中期 インターン (10日間)	メディカルフィットネストレーナーとして、10日間のインターンを実施します。	2・ 後	90	3			○	○	○	○	
○			ビジネススキル 5	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	3・ 前	30	2	○		○	○			
○			ビジネススキル 6	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	3・ 後	30	2	○		○	○			
		○	アウトドア実習 C	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	3・ 前	30	1			○	○	○		
		○	キャンプインス トラクター実習 C	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	3・ 前	30	1			○	○	○		
		○	現場実習 4	学内外でアスレティックトレーナーとしての実務経験を積んでいきます。	3・ 前	30	1			○	○	○	○	
		○	現場実習 5		3・ 後	30	1			○	○	○	○	
		○	マリン実習C	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	3・ 前	30	1			○	○	○		
		○	ATコンディ ショニング実習	身体機能の改善・維持を目的としたエクササイズなどについて実習します。	3・ 前	30	1			○	○	○	○	
		○	ATコンディシ 実習 2 ョニング		3・ 後	30	1			○	○	○	○	
		○	AT演習 4	現場実習での経験・知識を生かして、演習形式で授業を行います。	3・ 前	90	3			○	○	○	○	
		○	AT演習 5		3・ 後	90	3			○	○	○	○	
		○	CPT演習 4	パーソナルトレーナー（CPT）・JATI認定トレーニング指導者受験に向けて実技を含め学習します。	3・ 前	60	2			○	○	○	○	
		○	CPT演習 5		3・ 後	60	2			○	○	○	○	
		○	コンディショニ ング実習 1	IOTを活用したトレーニングや各種コンディショニングに関する知識・技術を習得します。	3・ 前	30	1			○	○	○	○	
		○	コンディショニ ング実習 2	各種コンディショニングに関する知識・技術を習得します。	3・ 前	30	1			○	○	○	○	
		○	コンディショニ ング実習 3	IOTを活用したトレーニングや各種コンディショニングに関する知識・技術を習得します。	3・ 後	30	1			○	○	○	○	
		○	コンディショニ ング実習 4	各種コンディショニングに関する知識・技術を習得します。	3・ 後	30	1			○	○	○	○	
		○	アウトドア フィットネス	キャンパス・学外などをを利用して、屋外でのフィットネス（健康運動）について学びます。	3・ 前	30	1			○	○	○	○	
		○	コーディネー ショントレーニ ング 1	運動神経系を活性化させるコーディネーショントレーニングの基本知識や手技を、実技を通して学びます。	3・ 前	30	1			○	○		○	
		○	コーディネー ショントレーニ ング 2	コーディネーショントレーニング種目をさらに身につけ、現場で実際に指導できるスキルを習得します。	3・ 後	30	1			○	○		○	

		○	メディカルトレーナー演習5	メディカルトレーナーに必要な、整体等の実践的なスキルを身につけます。	3・前	30	1			○	○		○	○		
		○	メディカルトレーナー演習6		3・後	30	1			○	○		○	○		
		○	健康運動演習4	生活習慣病予防のための運動実践について学びます。	3・前	30	1			○	○		○			
		○	健康運動演習5		3・後	30	1			○	○		○			
		○	スタジオプログラム2	スポーツクラブでは主流のスタジオプログラム。パワーヨガ、マットピラティスなどその種類は多種多様です。スタジオプログラムの主要な運動についての知識、技術について基礎を学びます。	3・前	30	1			○	○			○		
		○	スタジオプログラム3		3・後	30	1			○	○			○		
		○	メディフィット演習1	傷害や疾病についての運動療法の、知識と実技を学びます。	3・前	30	1			○	○		○	○		
		○	メディフィット演習2		3・後	30	1			○	○		○	○		
		○	スキー実習C	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッヂテストを実施します。	3・後	30	1			○	○		○			
		○	スノーボード実習C		3・後	30	1			○	○		○			
		○	MFCスタッフ実習3	MFC（メディカルフィットネスセンター）スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	3・通	120	4			○	○		○	○		
		○	インターンシップ2		3・通	45	1			○	○		○	○		
		○	キャリアアップセミナーI	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	3・通	15	1	○			○			○		
		○	キャリアアップセミナーJ		3・通	30	2	○			○			○		
		○	キャリアアップセミナーK		3・通	45	3	○			○			○		
		○	キャリアアップセミナーL		3・通	60	4	○				○		○		
		○	キャリア実習3	スポーツ業界について、学内外において理解を深めるための実習やインターンシップを行います。	3・通	30	1			○	○	○		○		
		○	キャリア実習4		3・通	30	1			○	○	○		○		
		○	スポーツトレーニング実習E	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	3・通	60	2			○	○	○	○	○		
		○	スポーツトレーニング実習F		3・通	120	4			○	○	○	○	○		
		○	社会体育実習C	学外などにおいて現場の実践的な経験やボランティア活動をし、指導者としての資質を高めます。	3・通	60	2			○	○		○			
		○	日本赤十字社救急法C	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	3・通	30	1			○	○			○		
		○	スポーツ自由研究E	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にしその意義・本質などを見極め理解を深めます。	3・通	30	1			○	○	○	○	○		
		○	スポーツ自由研究F		3・通	30	1			○	○	○	○	○		

		○	パーソナル フィットネス・ エディケーションC	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などを学びます。	3・ 通	60	2			○	○	○				
		○	MFTコーラス実習（30日）	メディカルフィットネストレーナーとして、30日間のコーラス実習を実施します。	3・ 前	270	9			○	○	○				
○			成果発表	在学中に学んだ成果事に基に、成果発表のための企画・準備・運営を実施します。	3・ 通	60	2			○	○	○				
合計				178 科目	6630 単位時間(276単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目975時間(50単位)、選択科目1425時間 (47単位) 合計2,400時間 (97単位) 取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の場合の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。